



学校だより

白樺の学舎

松本市立波田中学校 令和8年2月20日 NO.10

真冬の町キレ・あいさつ運動 ～伝統・地域とのつながり～

寒風吹きすさぶ2月3日(火)～5日(木)に町キレ・あいさつ運動が行われました。波田小の皆さんもあいさつ運動に多数参加していただき、中学生と一緒に活動しました。学校目標でもある「たくましさ」を感じる一場面となりました。あと2ヵ月で波田中学校に入学する6年生と一緒に活動できたことは中学生にとっても小学生にとっても貴重な一瞬になったのではないのでしょうか。2年生を中心に動き始めた生徒会活動が軌道に乗り始め、自分たちらしい生徒会運営を築きつつあります。「やさしさ」「かしこさ」「たくましさ」の実現に向けて積み上げていきます。



前夜に降った雪の上で小学生と一緒に気持ちのよい挨拶が交わされました

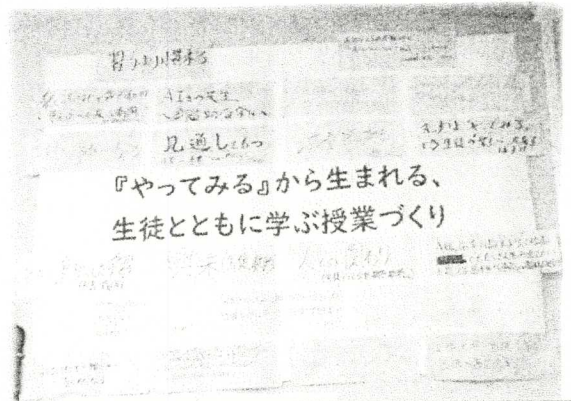
～R7 研究テーマ～「やってみる」から生まれる、生徒とともに学ぶ授業づくり

今年度新たに設定した研究テーマをもとに職員が授業・学校づくりにおいて、自分の課題をもって取り組んできました。「やってみたこと」としては例えば以下のようなものがありました。

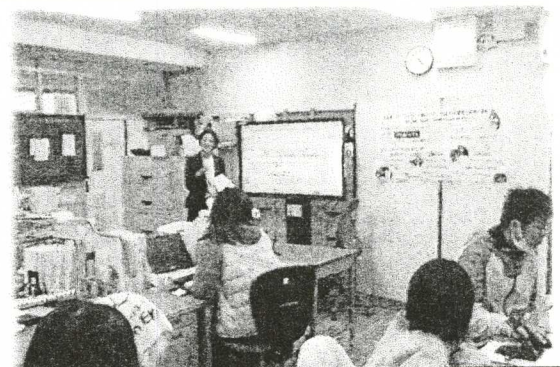
○「速楽テスト」を活用した問題作成、および毎時間のスモールトークの実施。ロイロノートを用いた自由進度学習用教材の作成。3年生のゴールから逆算した、1・2年生の探究総合の年間活動計画の見直し。」

○「生徒が主体的に取り組むロールプレイ授業（社会公民分野の模擬裁判）。生徒が主体的に取り組む探究総合の開始（3年）」

それぞれが自分らしく授業づくりや学校づくりに取り組み、生徒がその子らしく学ぶことができる波田中になるよう、今後も研鑽してまいります。



それぞれの職員が「やってみる」と考えた内容が職員室の壁に貼られています



研究主任を中心に職員の「やってみる」を後押しする研修に取り組んでいます